

奄美図書館だより

平成24年12月1日発行
第258号(12月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 0997-52-0244

HP address : <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

島尾敏雄記念室講演会

11月3日(土)に、奄美博物館学芸員 高梨修氏をお招きして、島尾敏雄記念室講演会を開催いたしました。「島尾敏雄の歴史学的視点～最近の歴史学研究からみたヤポネシア論の再評価～」と題して、古文書研究や発掘調査からわかってきた日本の歴史観からヤポネシア論を見直すという視点で講演していただきました。

参加された方々からも、「単なる文学的視点ではなく、歴史的視点を含めた話は、島尾敏雄を理解する上でとても有益でした」「島尾敏雄の文学以外でも造詣の深さを感じました」

「島尾敏雄のエッセーに、名瀬を知る上で大切なものがあるということを確認しました」の感想をいただき、充実した講演会となりました。



読み聞かせボランティア養成講座

10月28日(日)に、読み聞かせボランティア養成講座を実施しました。図書館、公民館図書室、学校図書館等で、図書館ボランティアとして活動を目指す方々が集まり、読み聞かせのよさやポイントなどを学びました。実践練習では、あまみ子どもライブラリーの嘉原カリさんとむかしばなしの会の井上千恵さんが指導し、その後、子どもたちの前で絵本の読み聞かせや手遊び歌等の実演を行いました。

参加された方からは、「今後、ぜひボランティアとして活動したい。特に、ストーリーテラーは魅力的であり、奄美の昔話などを島口を交えてできるようになりたい」等の感想をいただきました。

奄美図書館では、毎週水曜日の15時30分よりおはなし会をしています。また、土曜日の10時から、ボランティアグループによるおはなし会も行っています。一緒におはなしの世界を楽しんでみませんか。お待ちしております。



「クリスマスおはなし会」へどうぞ

奄美図書館では、12月16日(日)に「クリスマスおはなし会」を行います。大型絵本・パネルシアター・手遊び歌などを一緒に楽しみませんか。ご家族でお越しください。

日時 平成24年12月16日(日)

第1部 10:30~11:30 第2部 14:30~15:30

場所 奄美図書館 4階研修室

サンタからのプレゼントもありますよ。お楽しみに!

「南島雑話」を書き残した なごや さげんた 「名越 左源太」

名越左源太は、今からおよそ200年前の文政2年12月28日に、鹿児島市下竜尾町に生まれました。幼名は源太郎、成長して時行、その後、時敏と名を改めました。私たちがよく知る「左源太」という名前は、通称なのだそうです。(昭和24年、西南文化研究所発行「高崎くずれ 大島遠島録」の「名越左源太翁小伝」より)

左源太は多才な人で、槍や剣道、弓道などそれぞれの流派の奥義を究めるばかりでなく、和歌に親しみ、医学にも通じていました。その左源太は、島津家の世継ぎ問題、いわゆる「高崎くずれ」により、嘉永3年(1850年)大島に遠島になりました。左源太31歳の時です。

また、左源太は大変筆まめな人で、大島での日々の出来事を毎日欠かさず日記につけていました。その日記は、左源太が大島に向かう船に乗り込んだ嘉永3年3月からの7か月分と、それから4年後に赦免されて鹿児島へ戻るために風待ちをしている安政2年4月からの約2か月分が、現在も残されています。「南島雑話」と合わせて当時の奄美を知る上で貴重な史料となっています。

さらに、平成22年5月には、東京虎屋文庫の今村規子さんが、南方新社から「名越左源太が見た 幕末奄美の食と菓子」という本を出版しました。現代に生きる若者が、幕末に書かれた日記に興味をもち、その現代語訳をウェブ上の記録であるブログに載せ、幕末奄美の食生活の一端についての調査研究をまとめた本です。

和紙に毛筆で書いた左源太の日記、ウェブサイトアップする方法で記録するブログ、と方法は大きく違いますが、「毎日つける日記」ということが共通しています。

年末年始のご利用に関するお知らせ

年末年始の開館時間等は、下記のとおりとなります。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださるようお願いいたします。

【開館時間・休館】

12月28日(金)	: 17時までの開館
12月29日(土)・30日(日)	: 臨時開館日
12月31日(月)~1月2日(水)	: 休館
1月3日(木)	: 臨時開館日
1月4日(金)	: 17時までの開館

【臨時開館日にご利用できないサービス】

臨時開館日には、下記のサービスはご利用いただけません。ご理解・ご協力をお願いいたします。

調査相談	書庫資料閲覧
貸出予約	利用者用端末
研修室	

お知らせ

参加してみませんか!



郷土コーナー企画展

- 日時 平成24年12月9日(日)~平成25年1月9日(水)
- 場所 鹿児島県立奄美図書館 2階郷土コーナー
- 内容 奄美群島の日本復帰運動を支え、奄美の芸能研究に貢献した「文 英吉」の島唄関係資料の展示

郷土コーナー 奄美群島日本復帰記念講演会

- 期日 平成24年12月25日(火) 14:00~15:30
- 場所 鹿児島県立奄美図書館 4階研修室
- 内容 演題「奄美群島日本復帰60周年に向けて」
発表者 楠田豊春、崎田実芳、大津幸夫(予定)
座長 花井恒三

※ お問い合わせは、鹿児島県立奄美図書館まで。

〒894-0016 鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1
TEL 0997-52-0244 FAX 0997-52-9634

12月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し	
12	1	土	特別整理に伴う休館 (~12/6)	
	8	土	むかしばなしの会 10:00~	
	9	日	郷土コーナー企画展 (~1/9) ネリヤカナヤ創作童話コンクール表彰式	
	10	月	休館 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 (~12/16) 期間中アニメ放映	
	12	水	おはなしの森 15:30~	
	13	木	青嶺短歌会 13:00~17:00	
	14	金	育児サークル「こっちむいて」10:00~	
	15	土	土曜日おはなし会 10:00~ ろんど文章教室 14:00~17:00	
	16	日	クリスマスおはなし会	
	17	月	休館	
	19	水	おはなしの森 15:30~	
	25	火	郷土コーナー「奄美群島日本復帰記念講演会」	
	26	水	休館	
	28	金	17時までの閉館	
	29	土	臨時開館 (17時までの開館)	
	30	日	臨時開館 (17時までの開館)	
	31	月	休館 (年末年始: ~1/2)	
	1	3	木	臨時開館 (17時までの開館)
		4	金	17時までの閉館
19		土	あまみならでは学舎	

1月の休館日予告

1日(火)・2日(水)・7日(月)・
15日(火)・21日(月)・28日(月)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

おばけなんてこわくない
中川 ひろたか 童心社
地球パラダイス
工藤 直子 偕成社
花をうかべて
新美 南吉 岩崎書店
100の知識宇宙をさぐる
スティーブ・パーカー 文研出版
はじめての編み物ゆびあみ
寺西 恵里子 汐文社
魔法のことは
川越 文子 銀の鈴社
その他97冊

郷土関係 郷土再考

由谷 裕哉 角川学芸出版
島尾敏雄を読む
比嘉 加津夫 ボーダーインク

おすすめの本

3つのなぞ

ジョン・J・ミューズ フレーベル館
トルストイの「三つの疑問」に形を借りて、子どもたちのために書かれた絵本です。主人公の少年ニコライが、いい人間になるために人生の三つのなぞと出会い、それを解くことで大きく成長していきます。少年は、自分の人生で「いつか いちばん だいじなときなんだろう」「だれが いちばん だいじな人なんだろう」「なにをすることが いちばん だいじなんだろう」と疑問をもちます。私たちは、どう生きるべきか。その答えを導くカギとなる三つの謎。そして、その答えとは・・・

一般

松下幸之助からの手紙
松下 幸之助 PHP研究所
天声人語 2012年1月-6月
朝日新聞論説委員室 朝日新聞出版
とんでもなく面白い仕事に役立つ数学
西成 活裕 日経BP社
レオナルド・ダ・ヴィンチ
レオナルド・ダ・ヴィンチ 西村書店
その他207冊

小説・随筆

空飛ぶ広教室
有川 浩 幻冬舎
赤猫異聞
浅田 次郎 新潮社
光園伝
沖方 丁 角川書店
種のキモチ
山田 悠介 文芸社
老年になる技術
曾野 綾子 海竜社
その他60冊

脳には妙なクセがある

池谷 裕二 扶桑社
脳科学の実験結果やその解釈について、できるだけ身近な話題に引きつけて紹介しています。「脳は妙に運まかせ」「脳は妙に酒が好き」「脳は妙に不自由に心地がよい」などの「脳は妙に」というタイトルが付いた26のエッセイ的文書が並んでいます。なるほどと頷けるものから、自分の生活にも取り入れてみようと思えるものなどの内容が書かれています。